

**フューチャー・ブックストア・フォーラム事業総括
および
第二期事業に向けて**

2012年7月11日

一般社団法人 日本出版インフラセンター
フューチャー・ブックストア・フォーラム

フューチャー・ブックストア・フォーラム事業の目的

近年、デジタル技術、ネットワーク化の進展により、デジタル化された映像、音楽、出版物等のデジタルコンテンツの流通機会が増大しており、新たなビジネスも期待されている。特に、出版物については、電子出版を巡る世界の情勢が著しく進展しており、我が国において、デジタル・ネットワーク社会に対応した知の拡大再生産の実現を前提とした出版物の利活用が課題となっている。

フューチャー・ブックストア・フォーラム事業(以下、FBF事業)では、「デジタル・ネットワーク社会における出版物の利活用の推進に関する懇談会」(以下、「共同懇談会」という。)にて取り纏められたアクションプランに基づき、出版物等のデジタルコンテンツの利用機会の拡大、収益構造の確保等を図り、書店の活性化を実現することを目的として、書店を通じた電子出版と紙の出版物のシナジー効果の発揮に関する各種調査と実証研究を行った。

第一期FBF事業実施体制

JPO(契約主体) / JPIC / 日書連 / 本の学校 / 出版倉庫

フューチャー・ブックストア・フォーラム

調査WG

ハイブリッド型
書店研究WG

書店注文環境
整備研究WG

書店ビジョン
研究WG

新業態
研究WG

JPIC
矢作 孝志

今井書店
田江 泰彦

出版倉庫流通協議会
山下 信一

本の学校
星野 渉

日本出版学会
永井 祥一

海外調査

他業種調査

消費者利用調査

店頭実証用システム
開発・実証

ブックレビューサービス

注文環境整備研究

書店ビジョン研究

新業態開発研究

全体検討

WG

WGリーダー

実施内容

第一期FBF事業全体の実施イメージ図

全体目標

電子出版と紙の出版物のシナジー効果による書店活性化

3つの柱
(仮説)

ICT(情報通信技術)利活用
ハイブリッド型書店の実現

地域におけるコミュニケー
ションセンターとしての
書店の役割の強化

ビジネスモデルの創出に
向けた新業態の開発

検討委員会

フューチャー・ブックストア・フォーラム

調査WG

調査

消費者意向調査

海外調査

他業種調査

ICT利活用
ハイブリッド型
書店研究
WG

実証実験

店頭試し読み実証実験

近刊情報提供実証実験

近刊情報提供実証実験

オンデマンド印刷実証実験

ブックレビューサービス実証実験

書店注文環
境整備研究WG

書店注文環境研究

書店ビジョン
研究WG

研究

書店ビジョン研究

新業態研究

新業態研究WG

第一期FBF事業からみえた課題と、今後の検討方針(案)

第一期FBF事業からみえた課題

客注商品の配送時間の短縮

- ・現状客注商品の配送には1週間程度掛かっており、そのことで書店の機会損失が生じている
- ・ドイツでは客注商品も翌日配送をしており、顧客ニーズを満たしており、また書店店頭在庫の削減にもつながっていた
- ・ネット書店に対抗するためにも、迅速配送の仕組みが必要となる

書店の人材育成

- ・書店関係者が集まり議論した書店ビジョン研究WGでも、今後、書店の機能強化や買取制度の導入を検討するためには、書店員や書店経営者となる人の育成が課題としてあげられた
- ・ドイツでのメディアキャンパスのような、書店員/経営者を専門的に育成する機関やカリキュラムが必要である

リアル書店でのICT利活用

- ・ハイブリッド型書店研究WGで実証した試し読み/近刊情報閲覧デジタル端末を店頭設置した実験にて、書店員・お客様ともに好評を得、また対象とした書籍の売上げ効果も40%増となったものもあり、一定の効果が確認された。
- ・今後、このようなデジタル端末の活用が、リアル書店の活性化につながると考えられる

リアル書店の魅力の向上

- ・ネット書店や電子書籍が台頭し、リアル書店の売上げが低迷している中、リアル書店ならではの魅力を訴求していく必要があるとの課題提起があった。
- ・ドイツでは年間50回以上も著者朗読会/サイン会をしており、固定客を得ている書店もあったため、このような取組みも必要である

第二期FBF事業検討方針(案)

1. 客注商品の迅速配送を実現

- ・客注商品の即日出荷/翌日納品を実現
- ・配送先は書店に加え読者自宅にも配送を検討
- ・注文は店頭設置のデジタル端末にて受け付ける
- ・在庫確保、物流コストの削減、客注商品発注時の書店の負担減などの観点から、業界横断的な客注商品配送インフラを構築する

2. 書店ブランドを活かした新たなビジネスモデルの開発

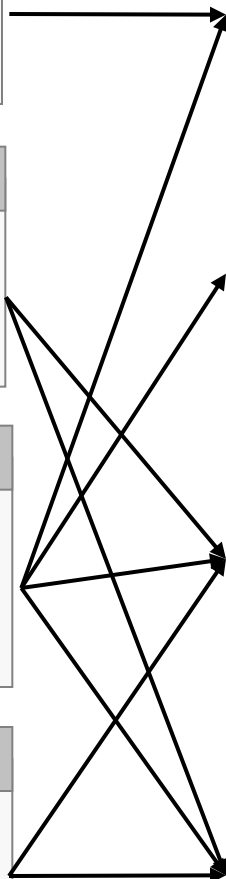
- ・ネット専門書店への顧客流出を防ぐため、書店ブランドを活かしたネット書店を活用し、リアル書店とネット書店のシナジーを生み出す
- ・現在個々の書店で運営しているネット書店のバックヤード機能を共同でもち、コスト削減と希少な在庫確保をできるようにする

3. リアル書店の新業態を研究

- ・著者朗読会や著名人のおすすめ本展示など、リアル書店ならではの取組みを行い、書店が「地域文化の発信基地」となることを目指す
- ・デジタル端末のみを置いた書店など、従来の枠組みにとらわれない新たな書店の検討も行う

4. 書店の人材育成

- ・リアル書店の魅力の強化や、ICTを活用した書店づくりのためには書店の人材育成が必須である
- ・ドイツのメディアキャンパスをモデルとした育成機関を創設し、体系的に書店業・経営ノウハウを学べる場を創る



第二期FBF事業 体制図(案)

フューチャー・ブックストア・フォーラム

全体検討

WG

客注商品の
迅速配送研究WG

書店ブランドを活かした
新ビジネスモデル
研究WG

リアル書店の
新業態研究WG

WGリーダー

谷川 直人((株)トーハン)

大垣 守弘((株)大田丸)

星野 渉(NPO 本の学校)

実施内容

業界横断的な客注商品配送インフラの構築
書店の担う役割強化(店頭注文の増加)
客注商品の迅速配送(翌日納品)
店頭設置デジタル端末機の活用

リアル書店とネットのシナジー効果の発揮
書店のバックヤードの仕組みの統合による共同仕入れ(配本の実現)

書店が地域の文化発信基地となる
出版震災対策本部と連携した東北エリアへの実験店舗の構築検討
既存商習慣に捉われない新たな書店の魅力を追求
人材育成のための公的資格制度の検討
人材育成のための書店員大学校(仮)の設立検討

第二期FBF事業 事業全体イメージ図(案)

全体目標

ネット書店に負けないリアル書店の活性化

3つの柱
(仮説)

地域におけるコミュニケーションセンターとしての書店の役割の強化

ICT利活用による新たなビジネスモデルの開発

次世代型書店を構築する書店人の育成

検討委員会

フューチャー・ブックストア・フォーラム

客注商品の迅速配送研究

客注商品の迅速配送(翌日納品)

店頭設置デジタル端末機の活用

書店の担う役割強化(店頭注文の増加)

業界横断的な客注商品配送インフラの構築

書店ブランドを活かした新ビジネスモデル研究

書店のバックヤードの仕組みの統合による共同仕入れ/配本の実現

リアル書店とネットのシナジー効果の発揮

リアル書店の新業態研究

書店が地域の文化発信基地となる

既存商習慣に捉われない新たな書店の魅力を追求(サイン会/オススメ本紹介/デジタル端末のみの書店の検討等)

出版震災対策本部と連携した東北エリアへの実験店舗の構築

書店人材育成検討

書店員大学校(仮)の設立

公的資格制度の検討

第一期FBF事業報告書について

第一期FBF事業の報告書は、経済産業省HPおよび日本出版インフラセンターHPの以下のURLからダウンロードできますので、ぜひ事業結果の詳細は報告書をご覧ください。

■ 経済産業省HP 調査報告書ダウンロード先

http://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/contents/downloadfiles/120307-1.pdf

■ 日本出版インフラセンターHP 調査報告書ダウンロード先

<http://www.jpo.or.jp/topics/data/20120509-report.pdf>